

大津市歴史博物館開館30周年記念企画展

芭蕉翁絵詞伝 と 義仲寺

松尾芭蕉の旅の人生を辿る40mの大絵巻!
門外不出を経て、初の全巻公開

2021年 2月27日(土)~4月11日(日)

開館時間 午前9時~午後5時(入場は午後4時30分まで)月曜休館

主催 大津市、大津市教育委員会、大津市歴史博物館

特別協力 義仲寺

後援 朝日新聞大津総局、radio、NHK大津放送局、京都新聞、共同通信社大津支局、KBS京都、産経新聞社、時事通信社大津支局、(株)ZTV滋賀放送局、中日新聞社、日本経済新聞社大津支局、FM湖放送、毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局

観覧料

常設展示観覧料でご覧いただけます。
一般330円(260円)/高大生240円(190円)/
小中生160円(130円)

※()内は15名以上の団体等の割引料金。

※大津市内在住の65歳以上の方は、小学生・中学生と同額。

※大津市内在住の障がい者、介護保険の要介護者及び要支援者の方と
その介護者1名は無料(証明するものをご提示ください)。

新型コロナウイルス感染拡大による中止・変更もございます。ホームページで最新情報をご確認ください。

大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町2-2 TEL 077-521-2100
<http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

大津市歴史博物館開館30周年記念企画展

芭蕉翁絵詞伝と義仲寺

旧東海道沿い、大津市馬場の義仲寺には、俳聖の松尾芭蕉(1644-94)が眠っています。今でこそ、美しい境内が守り伝えられていますが、芭蕉亡きあとの18世紀中ごろには、すでに荒廃が進み、半ば忘れられた寺院でした。それを嘆き、生涯をかけて復興に努めたのが蝶夢(1732-96)です。彼は芭蕉の百回忌に向けて、義仲寺の翁堂(芭蕉堂)を復興し、さらに本尊の松尾芭蕉像に奉納するため、11年の歳月をかけて本格的な松尾芭蕉伝記絵巻として芭蕉翁絵詞伝を制作しました。

この芭蕉翁絵詞伝は、義仲寺の寺宝として、長く門外不出の扱いを受けており、前回の公開は、本館での芭蕉没後300年記念展「芭蕉と近江の門人たち」(1994年)が最後です。21世紀になってからも封印状態でしたが、2年前、絵詞伝が本館に寄託され、公開が可能となりました。今回は、本館の開館30周年を記念して、芭蕉翁絵詞伝全巻を公開します。あわせて、これまで展示される機会がなかった義仲寺の寺宝・俳諧資料も紹介します。

主な出品作品 (全て義仲寺蔵)

芭蕉翁絵詞伝(大津市指定文化財) 3巻 ※表面写真

生涯を芭蕉の顕彰に捧げた蝶夢が、芭蕉の百回忌法要の記念事業として完成させた、総延長40メートル、絵と詞各33段、上中下全3巻からなる大作の伝記絵巻です。寛政4年(1792)、芭蕉百回忌前年の命日に奉納されました。寛政度の御所障壁画制作を担当した狩野正栄至信の手によって、芭蕉の生涯や足跡が臨場感豊かに、入念に描写されています。いわゆる芭蕉イメージの普及に貢献した作品です。



芭蕉門古人真蹟 1冊 ※右写真

芭蕉没後、芭蕉門人の俳諧書跡も失われつつあったなか、蝶夢が10年以上の歳月をかけ、伊賀・近江・伊勢・尾張・武蔵の門人の遺族や子孫を訪ね歩き、寄付を懇願して収集し、蕉門書跡アルバムに仕立てたものです。79点の俳諧書跡のほとんどに寄付者名が記録され、うち7点は寄贈年月日も判明します。蝶夢の情熱と律儀さに驚かされます。

花卉図板絵天井画(翁堂天井画) 伊藤若冲 15面

牡丹や菊、燕子花など、合計15面からなる格天井の花卉図。本作は、数少ない若冲の天井画のひとつで、若冲独自の図案的センスと構図感覚が発揮された四季の草花図(花卉図)となっています。安政6年(1859)に、大津柴屋町の魚屋通六が義仲寺に寄進しました。



企画展関連講座 ※有料・抽選。事前申込が必要。詳しくは大津市歴史博物館まで。

- 3月13日(土) 15時~16時 れきはく講座 **芭蕉 伊賀時代からの旅立ち** 岡本 栄氏(伊賀市長)
- 3月18日(木) 15時~16時 れきはく講座 **歴史資料から読み解く義仲寺** 高橋 大樹(本館学芸員)
- 3月20日(土・祝) 午後半日 現地見学会 **義仲寺と竜が丘俳人墓地** 横谷 賢一郎(本館学芸員)
- 3月30日(火) 15時~16時 れきはく講座 **芭蕉翁絵詞伝 絵師と作品** 福田 道宏氏(広島女学院大学准教授)

大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町2-2 TEL 077-521-2100
<http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

〈アクセス〉
 京阪電鉄石山坂本線「大津市役所前」駅下車 徒歩約5分
 JR湖西線「大津京」駅下車 徒歩約15分

無料駐車場(乗用車約70台)

